

流山市補助金等審議会会議録（第4回）

- 1 開催日 平成23年7月12日（火）
午後2時から
- 2 場所 流山市役所第2庁舎3階302会議室
- 3 出席委員 柴委員、廣田委員、前田委員、山口委員、伊藤委員、
松本委員、西村委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 秋元財政調整課長補佐
- 6 傍聴者 なし
- 7 議題

（1）平成23年度既存補助金のヒアリング（2日目）

対象課：商工課、農政課

（2）その他

8 配付資料

（1）平成23年度既存補助金審査表

（伊藤会長）ただいまから、第4回流山市補助金等審議会を開催いたします。

本日の会議は、出席7名、欠席なしですので、会議は成立していることをご報告します。

なお、あらかじめ報告申し上げますが、流山市では、「審議会等の会議の公開に関する指針」を策定し、審議会等の会議は原則公開とする旨規定しておりますことから、本審議会も公開といたしますので、あらかじめご了解いただきたいと思います。

本日は、平成23年度既存補助金審議のヒアリングを行います。

前回、ヒアリング対象としました37件の補助金のうち、本日は、別紙審査票にありますとおり、2課、13件の補助金等についてヒアリングを行います。

では、早速始めたいと思います。

【勤労者互助会補助金】

（伊藤会長）本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきあり

がありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要性」、「効果」、「適切性」や過去3年間で行った改革を中心に5分程度でご説明下さい。

その後に、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【商工課 説明】

(山口委員) 中小企業の零細事業者の安定のための目的は理解できません。国民健康保険の人間ドックやヘルス事業の助成がありますが、関連はありますか。

(商工課) 別枠です。国保に請求するものは、国保会計で、人間ドックを受けると互助会と両方からもられます。

(山口委員) 公平性の観点から見ると手厚くなりすぎているという事はないですか。

(商工課) 考え方として、人間ドックを受けた場合、国保に加入している農家の方は、この組織に入っていない為、そういう意味での公平性は欠けるかと思えます。二重給付にはなりますが、妥当かと思われれます。

(西村委員) 組織はどうなっていますか。

(商工課) 昨年度末、会員になっているのは、38企業373名です。個人商店を含めると、数百あるので、組織率は低いと思えます。今後、加入者数を増やしていかなければならないと考えています。個人事業主の場合は、なかなか難しいところですが、啓発していきたいと思えます。

(前田委員) 審議会の答申で、従業員・事業主に対する福利厚生等の必要性については認められるが、事業経営の面については自助努力という基本があり、見直しが必要である。という事でしたが、適正化実行プランで、しかし云々と書いてありますが、中身は何も変わっていませんね。補助金の評価は、適正化実行プランを基にしているので、しっかり書いて下さい。

(商工課) ご指摘はある意味ごもっともです。しかしという言葉が反

論と取られたという事は、申し訳なく思うのですが、中小零細企業ですので今の雇用環境あるいは社会的経済状況を考えますと、福利厚生までまわす資金がないのが現状です。市で助成せざるを得ないという点をご理解頂きたいと思います。

(前田委員) 答申を認めていて、しかしと言う事なので、中身はどうか聞かざるを得ないです。

(商工課) 自助努力が必要だという事は理解していると思いますし、私たちも指導していかなければならないと思いますが、雇用環境、社会情勢を考えますと、自助努力では補えない部分があり180万円の補助金は減らすことは出来ないと考えます。会費を増やす事も出来ない状況の中で、雇用を確保していくと言う意味での福利厚生も大事ですので、市の補助金は継続したと理解しています。

(前田委員) 見直しをやっているわけではなく、今後どうするのですか。

(商工課) 見直しが出来なかったのが現状です。中小零細企業は会社の費用で福利厚生にまわす原資は限られており、会費を増やすことはできず、市の財政状況も厳しいので現状維持でお願いしたいというやりとりがある中で補助金を決定しました。

(前田委員) 適正化実行プランに説明や年度別指数等を具体的に記入して下さい。

(松本委員) 経費に対する補助金が恒常的になっているように感じます。経費に対する補助金ではないという説明が記入されていないのが、問題だと思います。事業収入を増やす努力をしている事を希望します。

(伊藤会長) 経済状況等厳しい中で苦勞しているかと思えます。勤労者保護という点で重要性があります。

【中小企業資金融資利子補給金】【商工課 説明】

(前田委員) 本補助金の改革すべき点、補助金等審議会の答申・補助金等適正化システムの内容に照らし改革すべき点の中で廃止と出てきますが、答申で廃止とは言っていないのに、誰が廃止と言ったのですか。

(商工課) 表現が適切ではなかったかもしれませんが、もし廃止となった場合はと言う事での言い回しで、表現が足りなかった事をお詫びします。

(前田委員) 市の方で廃止の動きがあるのですか。

(商工課) 廃止をするという議論はありません。

(前田委員) 必要性を認めるという答申なのに、なぜ廃止が出てくるのか。公文書にこういう表現や言い回しはしません。

(商工課) 誤解を与える表現は不適切でした。申し訳ありませんでした。

(西村委員) 算出基準は、ほとんど公的機関の借入れですか。どのような制度ですか。利子補給の中身は何ですか。

(商工課) 流山市の融資制度があり、市の預託金 1 億 2 千万を銀行に預ける代わりに、それを原資に銀行がお金を貸すシステムです。融資制度の中には、事業資金や公害防止資金など全部で 7 種類の項目があり、それについて掛った利子について利子補給します。

(山口副会長) 融資期間は決まっていますか。

(商工課) 中小企業の方が自分で選びます。

(山口副会長) 選んだ所まで利子補給するのですね。

(商工課) 市税を滞納した人は、その時点で利子補給しません。

(西村委員) 利子補給制度ですか、融資制度ですか。

(商工課) 市の制度融資で融資受けた方の利子補給制度です。

(前田委員) 資料が不十分だと思われます。

(商工課) 追加資料を提出します。

【 商業振興共同施設維持管理費補助金 】 【 商工課 説明 】

(松本委員) LED 化した商店街はあるのですか。

(商工課) LED 化は南流山商店街、鱈ヶ崎商店街、省エネ化は松ヶ丘商店会、東初石商店会です。今進行中は江戸川台商店街、流山一・二・三地域振興会、平和台駅前通り商店会です。今年度までに 7 団体終了する予定です。

3 年間は市で電気料をすべて負担するので、その分を改造にまわして下さいという意図です。

【流山商工会議所事業補助金】【商工課 説明】

- (前田委員) 移行に対して3年間1千万円ずつ補助しましたが、資金不足解消に役立っていないのですか。
- (商工課) 移行に伴う先進市の視察や残業等の人件費の経費の助成です。
- (前田委員) 47年間続いているので、疑問を感じます。改善、見直しの余地はありませんか。
- (商工課) 商工会議所は社会的に知名度があり、市からの助成なく自主独立路線を歩めるようにしたいと考えていますが、自主財源を見つける事が難しく、今後、中期計画を作成するよう指導していきたいと思います。
- (山口副会長) 商工会議所のその他の収入は、会費ですか。
- (商工課) 会費も含めてです。決算の状況の額は、補助金の対象になった分です。
- (西村委員) 商工会議所になり、運営はどう変わったのですか。
- (商工課) 自主的に運営する部分の幅が広がりました。自主的な財源を見つけて自分達で収入を得る事が容易になったのですが、現実的に入ってくるあてがないようです。
- (西村委員) 市から見れば、商工会議所になった意味がないのではないですか。
- (商工課) 補助金を少しでも少なくするように事業を発掘してほしいと思っています。
- (西村委員) 松戸や柏に比べて活動内容が弱いのではないですか。
- (商工課) 松戸や柏は地理的に繁華街で大きな企業が沢山ありますが、流山の場合有名な企業は数えるほどで、PR活動も含め、指導していきたいと思います。
- (山口副委員長) 今、会員企業はどれくらいありますか。
- (商工課) 1500位です。
- (松本委員) 本来、商工会議所で賄う経費ですが、独立したばかりで、支援せざるを得ないと思いますが、近隣市を勉強した方が良いかと思っています。

(商工課) 柏の場合、会議室の場合、各部屋に貸出用のプロジェクターやスクリーンがあり、マイク設備、音響設備も含め設備投資をすると、一部屋数十万円かかるそうです。流山の場合、数十万投資してもそれに見合った利用者があるかどうか、二の足を踏んでいる部分があります。

(松本委員) 自治会等でも会議室、発表展示室を探している人がいます。需要があります。

(商工課) 自治会等について商工会議所に投げかけていきたいと思えます。

【ふるさと産品協会事業補助金】【商工課 説明】

(伊藤会長) P R が足りないと思います。地酒を探したら、大きな店舗イトーヨーカドー等にはなく、南流山センターに聞いて調べてもらい、小さな酒屋で購入しました。B級グルメの発掘等していくべきだと思います。

(松本委員) 流山のお土産は漬物になってしまい、流山に行くと何とかがあるよ、と言うようなP Rをしてほしいです。全国に名前が売れているのは、みりんだと思います。流山産品の限定を決める方がよいと思います。

(西村委員) 観光とセットにしないと、来た人に訴える事ができないし、どこでもある品物しかありません。研究開発費として使った方がいいのではないですか。

(商工課) 皆様のおっしゃる通り流山には、これといったお土産がないのは事実だと思います。ふるさと産品の協会や産品の協会に入っていないところに対しても話しをしていますが、なかなか生まれて来ません。来年度から、すぐれた品物を一店逸品でキャンペーンをしようと考えています。B級グルメはマーケティング課で考えています。ここ2、3年の内に物にしたいと考えています。

(前田委員) 補助金は40万円でふるさと産品にどれだけ価値があるのか、もっと補助金を増やしてほしいとか協会の中で動きはあるのですか。

(商工課) 使い道は、ふるさと産品に認定されているシール、紙袋、

ビニール袋に使われています。研究開発等にも使われるよう提案し、事業者自身で考えていくような方策を考えていかなければならないと思います。

(西村委員) 次の観光協会事業と一体化できないのですか。

(商工課) 今年度4月から流山本町・利根運河ツーリズム推進室が商工課にでき、職員が2名配置されました。流山本町の古い街並みを利用した観光、運河の自然を活かした観光の2本立てで観光に力を入れていくという市長の方針で頑張っています。観光を考えるとという意味では前進しています。これを計画どおりできるようにふるさと産品、観光協会の事業を含め推進していきたいと考えています。

【観光協会事業補助金】【商工課 説明】

(前田委員) 前回の答申で若い人の応援や老人会に向けた改革を出しましたが、法人の考えはありますか。

(商工課) 法人化については、進めようとしています。熱心な会員の方がおり、NPO法人という事で作業を進めようとしています。

(山口副会長) つくばエクスプレスが開通し、おおたかの森をもっと活用する事を考えていないのですか。

(商工課) TX沿線については、区画整理をしている最中でUR住宅都市整備公団が持っており、市が自由に使える土地がありません。ただ、保有地として市で所有権がある土地があり、セントラルパーク駅前やおおたかの森にまとまった土地を市が持っています。今後、区画整理が終わるのに合わせて、どう使っていくか庁内組織として検討委員会を設けています。どうすれば人が集まり、市民が使い易いか検討しています。

おおたかの森駅前で第3土曜日に開催される森のマルシェでは、千葉県で生産量が野田市について2番目の枝豆を使った流山産品の試作品を作り、アピールしていこうと考えています。

(山口副会長) どこの主催ですか。

(商工課) 森のマルシェ実行委員会でマーケティング課の窓口です。ふるさと産品協会からも出店しています。

(松本委員) 補助金が35万円で大丈夫ですか。

東洋学園大学や江戸川大学の学生の若い知恵を利用する事を考えたらいいと思います。

(伊藤会長) 大学が参画する事は大事だと思います。

(廣田委員) 江戸川大学では、若干協力しているようです。ふるさと産品のパッケージデザインや商店街の空き店舗を一定期間学生に貸して活用させる市がありますので、流山でも学生がそのような事ができれば良いと思います。

(柴委員) 東洋学園大学のキャンパスは、1,2年が流山で、3,4が本郷の為、流山市民の学生は数パーセントしかいないので、自分達が市にかかわっていこうという学生が少ないです。

(伊藤会長) 学生を惹き付ける努力が必要だと思います。

(柴委員) 大学と市で協議するべきです。

(商工課) 今後、両先生にご協力いただきたいと思います。

(西村委員) TXの中吊りに散歩やウォーキングの広告がありますが、どこで作るのですか。

(商工課) 部署は分かりませんが、TXが沿線の自治体に情報を求めて市が情報提供しています。TX沿線のおおたかの森とセントラルパークのまちづくりは、これからですので、観光も頭の中に入れながら開発を進めていきたいと思います。

(西村委員) 観光農園との連携はあるのですか。

(商工課) 部が同じですので、情報は共有していますが、観光農園を観光行政に結びつけるようにタイアップの強化をしていかなければならないと思っています。観光農園は観光協会の会員になっています。

(伊藤会長) ありがとうございます。

ここで、5分程度の休憩をとらせていただきます。

【休憩】

【保全管理水田維持管理事業奨励金】

(伊藤会長) 本日は、お忙しい中を、ヒアリングに出席いただきありがとうございます。

始めに、補助金について、「公益性」、「公平性」、「必要

性」、「効果」、「適切性」や過去3年間で行った改革を中心に5分程度でご説明下さい。

その後、私たちから質問を行いたいと考えております。

それでは、お願いします。

【農政課 説明】

(前田委員) 実行プランの8番に補助金を廃止することは云々とありますが、どこからの話ですか。補助金等審議会の答申では、廃止とは言っていません。

(農政課) 整合性を図ります。

(前田委員) 決算の状況に記載がなく空欄になっています。収入、支出をきちんと出して下さい。平成23年度の予算要求に当たっての担当課の見解も空欄ですが、考えていないのですか。

23年間、ほとんど変わらず補助していますが、見直し検討すべきではないですか。

(松本委員) 主旨は水田の保全でわかりますが、なぜ23年間260万円を3軒の農家に草刈の実施で続いているのですか。

(農政課) 数軒の農家という事ではなく、面積35ha荒れている土地があり、高齢化等で手が回らない所に助成をし、保全しています。

補助件数の3は、農家の数ではなく、取り扱っている件数です。

(松本委員) 事務取扱い奨励金とは何ですか。

(農政課) 事務手数料です。土地改良区に場所等の位置を明らかにしてもらっています。

(松本委員) 毎年、35ha対象なのですか。

(農政課) 水田約200haの内、35ha荒れたままの土地があります。

(山口副会長) 国の農業政策と関係していますか。

(農政課) 土地の管理という意味のものです。昔は減反政策でしたが、今は所得補償に変わってきています。生産調整の規制はあり、転作に切りかえる政策がありますが、流山の田んぼは湿地帯の為、転作には向きません。所得補償や生産調整は国で、市の保全管理水田維持管理事業は現地確認し、国と市で重複して支出していません。

(伊藤会長) 補償だけ続けるのでは、過保護で流山市の発展にとって良

いものではないと思います。

(農政課) 新しい手があれば、進めたいのですが、今は、生産者が参加して直売所の模索をしておりますが、スーパー等の新設がある中で、生産者は縮小傾向にあり難しいところです。

(山口副会長) 近隣市でも奨励金を出しているのですか。

(農政課) 農業しかできない農業振興地域が野田市、柏市にあり、そういう所はこの制度はありません。

(西村委員) 73番の農用地有効活用事業奨励金と連携できないのですか。

(農政課) 後継者問題等があり連携を図っています。

(伊藤委員長) 農用地有効活用事業奨励金と関係があるようなので、そちらの説明をお願いします。

【農用地有効活用事業奨励金】【農政課 説明】

(西村委員) こちらの奨励金を使って農地の幹旋をすれば、草刈の奨励金が減るのではないですか。

(農政課) 地権者と借りる方の問題があります。農業従事者資格者でないと貸し借りは成立できませんので、難しい問題もあります。

(山口副会長) 補助件数が伸びていますが、農業法人ですか。

(農政課) 農業者です。農業を拡大したい農家間の貸し借りです。昨年、農地方の改正で、相続税等の緩和があり、貸し手が貸し渋りをしなくなった事も件数が増えた要因だと思います。

(山口副会長) 奨励金は1回限りですか。

(農政課) 貸し借りの足がかりになればと言う事で最初に1回限りです。

(前田委員) 27年間続いていますか、農業経営基盤強化促進法により、未来永劫続くのですか。

(農政課) 法は、農業を拡大する人を進めていますので続いていくと思います。政策的なもので農業法人も認められつつありますので、今後、会社という動きも出てくるかと思っています。

【高生産推進事業費】【農政課 説明】

(山口副会長) 補助金の交付先は、団体ですか。

(農政課) 団体を取りまとめて申請します。新設分 1 回限りです。農家が投資しても結果が伴わなければ、採算が合わない場合もあります。

【青果物価格安定対策事業費】【農政課 説明】

(松本委員) 確認ですが、国・県の補助はないのですね。

(農政課) 補助金はありませんが、積立金として県が 60% 拠出しています。

(西村委員) 葱と青葱だけですか。特産品だからですか。

(農政課) はい、そうです。

(西村委員) 決算額の上がり下がり、価格の変動ですか。

(農政課) 22 年度は、高騰したので、額が少なかったです。

(松本委員) 算出基準は、何に対して 5 割負担しているのですか。根拠は何ですか。

(農政課) 生産者負担です。

【苺生産促進事業費】【農政課 説明】

(松本委員) 補助件数は 1 件ですが、1 農家ですか。

(農政課) 団体です。

(松本委員) 流山の苺狩りに行った事もないし、観光農園と書いてあるか知りません。競争力があるのか、有名だと言う話を聞いた事がなく、スーパーで流山の苺を売っているのを見たことがありません。

(農政課) 流山の苺は、もぎ取りはやっていません。箱詰めして消費者に渡す物ともぎ取りを一緒にすると、畑の傷みが早くなってしまうそうです。ただし、苺の時期が終わって片づけの段階で農家の好意で近所や近くの学校の子供会等に呼びかけして、開放しているようです。

(伊藤会長) 好評と言うのは、観光苺狩りではないのですね。

(農政課) 実が大きく味も美味しいので、庭先での直売やスーパーに納めています。商品名は、段ボールに流山産と表示しています。

(山口副会長) 苺以外の生産者からの要望はないのですか。なぜ、苺だ

けなのですか。

(農政課) 次の流山市園芸団体連合会等の情報交換の中で市の施策を説明し、苺生産の場合、補助金を受けられるという説明をし、予算説明の中で了解していただいています。

(前田委員) 平成22年度の実行プランに、今後における苺の補助対象内容の見直しを検討する。とありますが、どんな検討ですか。

(農政課) 農家が高齢化になり路地栽培で腰等を痛め作業条件が悪いので、高設栽培等を補助対象にしていたが見直し、23年度は、設備等の補助を切りました。補助対象を見直し、苺出荷容器、資材、農薬等を対象としました。

(山口副会長) ダンボール、パック等は、それぞれの生産者がやり、味や品質の良さ等PR・開発費用にあてた方が良くはないでしょうか。

【流山市園芸団体連合会】【農政課 説明】

(松本委員) 連合会の事業は何ですか。

(農政課) 枝豆立毛共進会、青葱立毛共進会、流山市農業共進会、主要会社の視察、野菜品質管理研修会の参加等、連合会を通じて実施しています。

(前田委員) わずかな額ですが、43年も続いています。

(西村委員) 活動が固定化しているのではないですか。

(廣田委員) 37万1千円の理由がわかりません。

(伊藤会長) 後日、事業の中身の追加資料をお願いします。

【高品質農産物生産事業費】【農政課 説明】

(前田委員) 27年間補助していますが、成果と言えるものは何ですか。

(農政課) 葱の赤錆病は、近年家庭菜園から発生したものが農家に伝染したケースがあります。個々で農薬をまくより、地域の状況を見ながら共同で一挙に防除する方が効果があります。

病気等が発生した場合は、団体の方で連携を取りながら、対応策を考えるシステムになっています。

(西村委員) 補助したところの生産量や販売量の推移、効果は分かりますか。

(農政課) 把握していません。

(西村委員) 補助金を維持するかどうか決める為には、データを取らなければならぬのではないですか。

(前田委員) 対象農家はどれ位ですか。農協に交付されるのですか。

(農政課) 農薬を農協と取引しています。45農家あり、薬剤の出荷伝票等で補助金の額を決めます。

(伊藤会長) 私達の補助金審査の判断基準は重要な効果があったのか、事業報告等が適切になされているのかで、大事な事です。

(山口副会長) これによって、赤錆病が防げて生産量が増えたというような実績を取ってないのですね。

(農政課) 気象条件等で違ってくるので生産量の実績は取っていません。

赤錆病が発生した場合、消毒しても駄目なので、出荷せず、根ごと抜き、土に埋めます。

(柴委員) 流山市の農業人口はどれ位ですか。

(農政課) 人口16万6千人の内農業従事者が約1千4百人です。その中で基幹的農業従事者は812人、65歳以上は453人、専業は379人です。農家戸数は706戸です。

(伊藤会長) 長時間、ありがとうございました。

(伊藤会長) 次回は、7月19日火曜日2時からとさせていただきます。

これで第4回補助金等審議会を終了したいと思います。ありがとうございました。

午後5時15分解散